



工事のおはなし



カリタス幼稚園

2022.6 No.20

原っぱ・森 に向けて

新園舎での生活が始まって2ヶ月。保護者の方からも、ステンドグラスの綺麗な「かみさまのおへや」や「ぐりとぐらのへや」などが好評です。開放的で、木のぬくもりが感じられる、という声も多く聞かれます。

道路になります!

4月、5月は、旧園舎の解体工事が行われていました。「前の幼稚園なくなってさみしい」とつぶやいていた子もいましたが、旧園舎のコンクリートは、なんと!道路として生まれ変わるそうです。壊して終わりではなく、どこか次のところで活躍してくれる旧園舎の一部。コンクリート以外のものも、役割の違う“はたらく車”3台が活躍し、鉄や木などに分別されており、今回の解体でも工事の中のSDGsがみつかりました。



山が登場!

解体が終わり、広々とした空間が見えるようになり、子どもたちも興味津々で2階のテラスから作業の様子を見ていることがあります。現在は、原っぱとなる予定の場所に大きく高い山ができています。いずれ山は無くなりますが、更地になって、いろいろな車両が来て、砂利が入って…と、日々変化している工事現場です。



測量

高校1年生が、数学の時間に測量を行いました。“不整形な土地の面積を知りたい時”や“直接測ることができない高さを知りたい時”に、三角関数を使って考える内容です。戸田建設の皆さんも参加して『光波測量機』という“角度”や“光の反射のスピードで距離を測る”機械が紹介され、活躍していました。この授業では今後、幼稚園の図面をもとに様々な計算をしていくようです。葛谷さんによると、新園舎の設計図での面積の計算も三角形の組み合わせでできているそうです!

